

# 〈特集〉家計調査報告 (平成19年平均)

家計調査では、国民生活の実態を家計収支の面から明らかにし、様々な施策の基礎資料を得ることを目的として、昭和21年から総務省が都道府県を通じて毎月実施している統計調査です。

この調査は、全国の二人以上の世帯と単身世帯（学生を除く）約4,300万世帯（平成12年国勢調査）の中から168市町村約9,000世帯の協力を得て実施しています。平成19年は、高知市で104世帯、梶原町で13世帯が調査対象となっています。

## 高知市の家計収支の概要（二人以上の世帯）

以下は高知市の二人以上の世帯、94世帯について、全世帯と勤労者世帯の別に集計したものです。なお、数値は農林漁家世帯を含んでいます。

### 1 全世帯の家計

(1) 平成19年の高知市の全世帯（平均世帯人員2.97人、平均有業人員1.32人、世帯主の平均年齢54.0歳）の消費支出は、1世帯当たり1か月平均284,574円で、前年に比べ名目3.5%の減少となりました。また、消費者物価が前年より下落(0.2%)したことから、実質では3.3%の減少となりました。

消費支出の内訳をみると、実質での増加は食料(2.4%)、家具・家事用品(8.7%)及び教育(22%)で、それ以外の7項目は減少となっています。なかでも被服及び履物(13.3%)、保健医療(18.4%)が二桁の減少となっています。

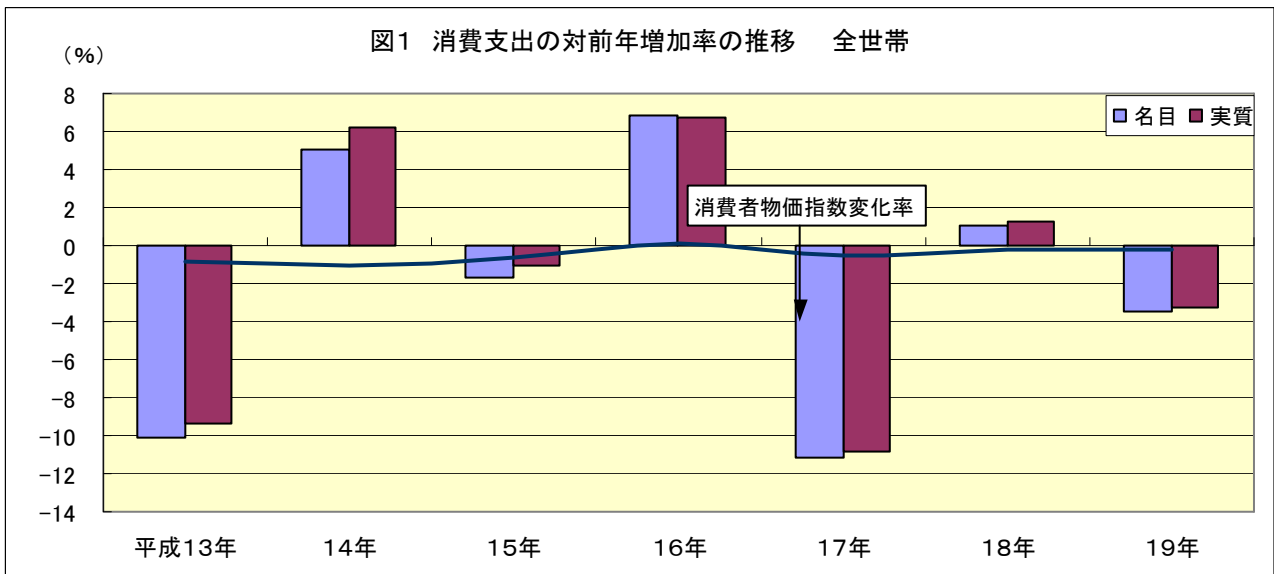


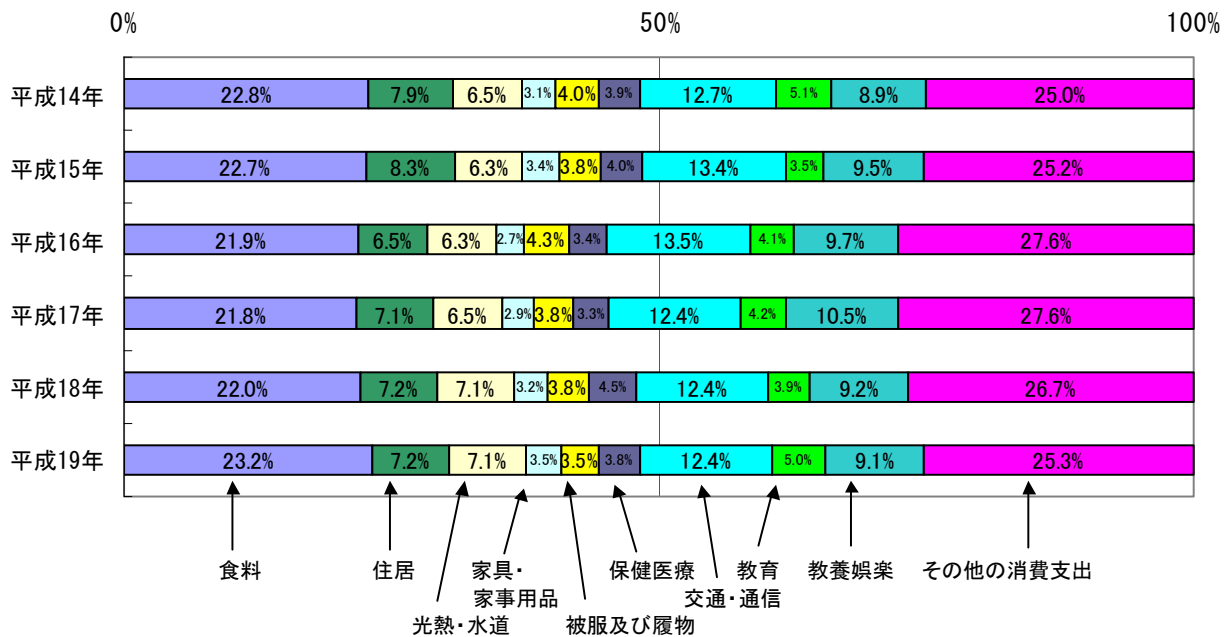
表1 10大費目の支出と動向 全世帯

	消費支出計	(単位:円)									
		食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	その他の消費支出
平成14年	312,695	71,256	24,853	20,213	9,842	12,587	12,247	39,855	15,855	27,822	78,165
平成15年	307,363	69,659	25,577	19,260	10,574	11,659	12,302	41,225	10,628	29,102	77,377
平成16年	328,391	71,798	21,386	20,827	8,965	13,997	11,195	44,200	13,499	31,787	90,738
平成17年	291,621	63,528	20,756	18,861	8,346	11,149	9,561	36,018	12,193	30,751	80,459
平成18年	294,886	65,017	21,354	20,928	9,294	11,303	13,158	36,609	11,445	27,005	78,773
平成19年	284,574	65,963	20,558	20,144	9,908	9,979	10,702	35,384	14,129	25,772	72,034

(2) 平成19年の消費支出の費目別構成比をみると、食料の占める割合（エンゲル係数）は、前年と比べ1.2ポイント増加して23.2%となりました。また、家具・家事用品（3.5%）が0.3ポイント、教育（5.0%）が1.1ポイント上昇となりました。

一方、被服及び履物（3.5%）が0.3ポイント、保健医療（3.8%）が0.7ポイント、教養娯楽（9.1%）が0.1ポイント及びその他の消費支出（25.3%）で1.4ポイント低下し、住居（7.2%）、光熱・水道（7.1%）及び交通・通信（12.4%）は前年と変わりありませんでした。

図2 消費支出の構成比の推移 全世帯



## 2 勤労者世帯の家計

### (1) 実収入

平成19年の高知市の勤労者世帯（平均世帯人員3.22人、平均有業人員1.61人、世帯主の平均年齢44.7歳）の実収入は、1世帯当たり1か月平均517,120円で、大幅に収入が増加した平成18年に比べ名目13.2%、実質13.0%の減少となりました。

実収入の中の勤め先収入のうち世帯主収入は378,969円で、前年に比べ減少となりました。また、世帯主の配偶者の収入（主として妻）は70,055円で、大幅に減少しています。

表2 勤労者世帯の実収入の推移

	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	全 国
実 収 入	561,197	500,935	595,595	517,120	528,762
経 常 収 入	548,374	487,243	587,422	502,976	520,246
勤 め 先 収 入	527,224	466,050	558,326	472,598	497,395
世 帯 主 収 入	440,782	371,610	426,339	378,969	433,306
世帯主の配偶者の収入	56,803	65,851	106,111	70,055	54,129
他の世帯員収入	29,639	28,588	25,877	23,574	9,959
事業・内職収入	1,173	1,739	3,186	2,268	2,639
他の経常収入	19,976	19,455	25,910	28,110	20,181
特 別 収 入	12,824	13,692	8,173	14,145	8,516

(2) 可処分所得

可処分所得(実収入から非消費支出を差し引いた額で、いわゆる手取り収入)は431,693円で、前年に比べて名目12.9%、実質12.7%の減少となりました。

なお、非消費支出(税金や社会保険料など消費者の自由にならない支出)は85,428円で、前年に比べ名目で14.6%の減少となりました。

(3) 消費支出

平成19年の高知市の勤労者世帯の消費支出は、1世帯当たり1か月平均318,536円で、前年に比べ名目6.0%、実質5.8%の減少となりました。

消費支出の内訳をみると、教育が実質13.0%の増加となり、他に食料、家具・家事用品、交通・通信が実質増加となりました。また、その他の消費支出、被服及び履物、教養娯楽、住居で二桁の大幅な減、他に光熱・水道、保健医療が減となりました。

また、平均消費性向(可処分所得に対する消費支出の割合)は73.8%で、前年比7.9%の増加となりました。

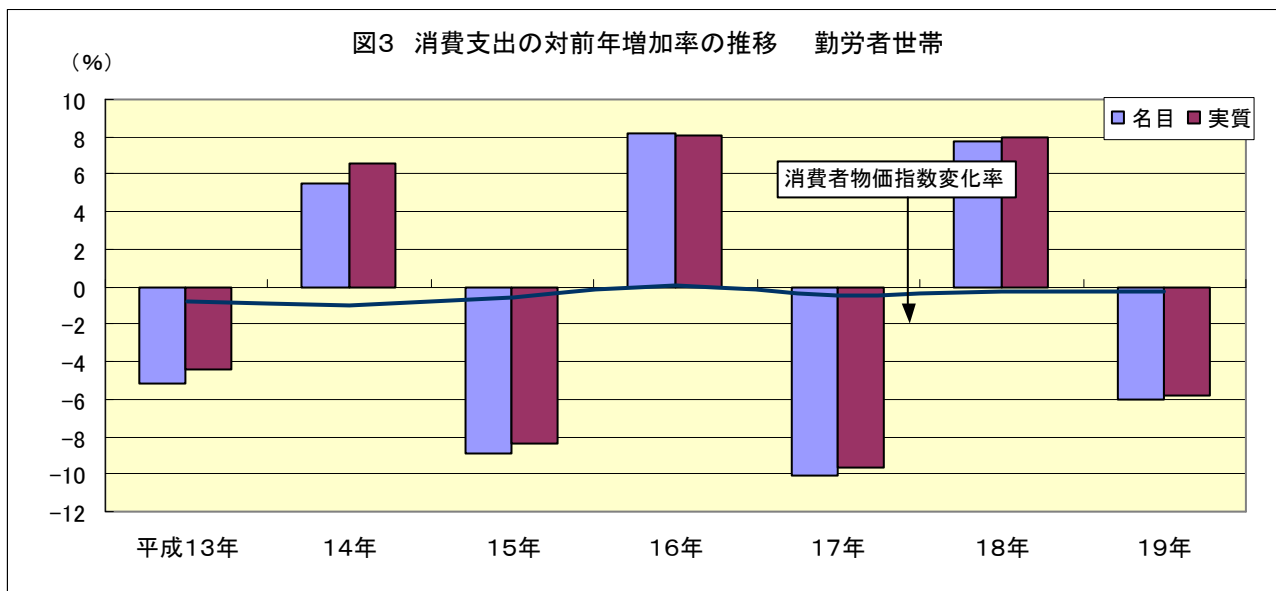


図4 勤労者世帯の家計収支

